

1. 科目名 (単位数)	福祉と教育 (2単位)	3. 科目番号	GELA1329 GELA1349
2. 授業担当教員	成田 成		
4. 授業形態	講義 (学習参考例)、演習 (ワークシート)、ディスカッション、レポート課題、発表	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	福祉や教育の現場では、突然生じる問題を的確に発見して捉え、福祉や教育を必要とする各人のニーズに応えられるように解決していかなければならない。そのためには、これまで我が国で主流とされてきた一方的な知識注入型の授業法を改め、学生が主体となって学習に取り組めるような双方向対話型の授業法に切り替えていかなければならない。本授業では、主に「新聞記事」「視覚教材」「学習参考例」などをもとにして、日本の福祉と教育のあり方について考え、真に必要な能力は何かを分析しながら、現代社会で求められる福祉従事者や教育者のあり方について考察する。		
8. 学習目標	本講義では、①ディスカッションでは、他人の意見を受け入れつつ、柔軟な思考力や問題解決能力を養うこと、②発表では、聞き手に理解されやすい表現力を身に付けること、③レポート課題では、論理的でわかりやすく簡潔な文章が書けるような文章作成能力を身に付けること、を学習目標にしている。また、①～③に記した能力を兼ね備え、福祉や教育の現場で役立つ実践力を身に付けることを究極の目標としている。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	レポート課題：最終日の授業時間には、「本授業に参加して興味を持ったことについて、自分でテーマを決めて1,000字程度で論述せよ。」というテーマでレポートを作成していただく。		
10. 教科書・参考書・教材	【参考書】 東京福祉大学編『社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 ・福祉や教育に関する現代的な課題について理解することができたか。 ・ディスカッションにおいて、他の人の意見を受けとめ、自分の意見を分かりやすい表現で伝えることができたか。 ○評定の方法 ・平常点 (積極的参加度・授業態度・発言等) 20% ・理解度 (ディスカッション記録、レポート、発表内容、資料等の作成など) 20% ・期末評価 (レポート・試験等) 60% 3/4以上の出席が確認できない場合には単位を認めないこととする。さらに、欠席は1回 (90分)につき10点を減点することとし、遅刻や早退はその時間分を減点する。ただし、特別な事情で欠席、遅刻、早退した場合には考慮し、課題を与えるなどして対応する。		
12. 受講生へのメッセージ	この科目では、ディスカッションや発表を通じて、福祉と教育のあり方について考え、福祉や教育の現場で役立つ能力を養っていただきたい。そのためにも、本授業に参加して、①レポート課題やワークシートでは、論理的でわかりやすい簡潔な文章の作成能力、②ディスカッションでは、柔軟な思考力や問題解決能力、③発表では、発言力や表現力を身に付けてほしい。		
13. オフィスアワー	時間：オリエンテーションで連絡 場所：伊勢崎キャンパス：4号館1階120研究室		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (授業の進め方、心得など) なぜ「福祉と教育」という科目が開講されたのか	事前学習	「福祉」と「教育」の共通点について考えてくる。
		事後学習	「福祉と教育」を開講した理由について振り返る。
第2回	日本の教育の現状① (教師による児童のいじめ)	事前学習	教師による児童のいじめ問題についての具体例を考えてくる。
		事後学習	いじめ問題の解決策について、さまざまな視点から考察する。
第3回	日本の教育の現状② (教員の指導力不足)	事前学習	教員の指導力不足を感じた事例について考えてくる。
		事後学習	教員の指導力不足の問題の具体的な解決策について練り直す。
第4回	日本の教育の現状③ (小学校教師によるモデル授業) ・ビデオ鑑賞で学んだことについてのレポート作成	事前学習	小学校時代に良かった授業について振り返ってみる。
		事後学習	学んだことについて、将来、どのように活かすかを考えてみる。
第5回	日本の教育の現状④ (中学校教師によるモデル授業) ・ビデオ鑑賞で学んだことについてのレポート作成	事前学習	中学校時代に良かった授業について振り返ってみる。
		事後学習	学んだことについて、将来、どのように活かすかを考えてみる。

第6回	日本の教育の現状③④のビデオを鑑賞して ・福祉や教育の現場で応用すべき点についてディスカッション	事前学習	日本の教育の現状③④のビデオで学んだことを整理してくる。
		事後学習	福祉または教育の現場で応用すべき点を自分の将来と関連させる。
第7回	有能な人材育成に繋がる授業法	事前学習	印象に残る素晴らしい授業について振り返る。
		事後学習	有能な人材育成に繋がる授業について考えてくる。
第8回	福祉の現場①（在宅介護でのターミナルケア） ・ビデオ鑑賞で学んだことについてのレポート作成	事前学習	ターミナルケアについて調べてくる。
		事後学習	在宅介護で重要なことを再確認する。
第9回	福祉の現場②（モデルとなっているデイケアハウス） ・ビデオ鑑賞で学んだことについてのレポート作成	事前学習	デイケアハウスについて調べてくる。
		事後学習	モデルとなっているデイケアハウスの長所と短所を確認する。
第10回	福祉の現場①②のビデオを鑑賞して ・福祉や教育の現場で応用すべき点についてディスカッション	事前学習	福祉の現場①②のビデオを鑑賞して学んだ点を整理してくる。
		事後学習	福祉や教育の現場で応用すべき点を自分の将来と関連させる。
第11回	福祉の現場③（難病患者の介護—コミュニケーションの重要性） ・ビデオ鑑賞で学んだことについてのレポート作成	事前学習	難病についての具体例をいくつか調べてくる。
		事後学習	ビデオで学んだことについて整理しておく。
第12回	福祉の現場④（認知症患者への対応） ・ビデオ鑑賞で学んだことについてのレポート作成	事前学習	認知症についての具体例をいくつか調べてくる。
		事後学習	ビデオで学んだことについて整理しておく。
第13回	福祉の現場③④のビデオを鑑賞して ・福祉や教育の現場で応用すべき点についてディスカッション	事前学習	福祉の現場③④のビデオを鑑賞して学んだ点を整理してくる。
		事後学習	福祉や教育の現場で応用すべき点を自分の将来と関連させる。
第14回	バイスティックの7つの原則（福祉と教育への応用） ・福祉従事者や教育者にとって重要なこと	事前学習	バイスティックの7つの原則について調べてくる。
		事後学習	福祉従事者と教育者にとって重要なものは何かについて考える。
第15回	合格点がもらえるレポートの書き方 ・レポート作成（本授業に参加して興味を持ったことについて、1000字程度）	事前学習	本授業に参加して興味を持ったことについて整理しておく。
		事後学習	作成したレポートについて要点を再確認する。